様式第６号

施策評価表

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（課長等）	29 年 9 月 28 日
２次評価日（部長等）	29 年 9 月 29 日

１ 施策の概要

施策名	予防対策の推進			コード	4-2
この施策の主な内容（細施策）	（1）各種検診の推進　（2）感染症対策の推進				
第４次総合計画におけるこの施策の目的	市民一人ひとりが、健康で生きがいのある生活を送るため、各種検診を実施し受診率向上と保健指導の充実を図る。予防接種により、感染症の予防と蔓延防止のため、接種機会の確保と積極的な接種勧奨を行う。				
担当部課	部 健康福祉部	課等	健康推進課	作成者	中村良則

●施策の実施内容（DO）

２ 施策指標の達成状況

＊第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：30年度）

	施策指標名	単位	26年度 実績値	27年度 実績値	28年度 目標値	28年度 実績値	28年度 達成率	29年度 目標値	30年度 目標値
①	がん検診の受診率	%	18.8	18.9	32.0	20.9	65.3%	35.0	44.0
	指標説明	がん検診（胃・大腸・肺・乳・子宮）の受診率の平均値							
②	がん検診において精密検査対象となった者の受診率	%	88.0	84.0	95.0	89.0	93.7%	93.0	95.0
	指標説明	がん検診（胃・大腸・肺・乳・子宮）の精密検査対象者の精密検査受診率の平均値							
③							#DIV/0!		
	指標説明								

３ 施策全体にかかる合計コストの推移

＊項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示　　単位：千円

	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
直接事業費	155,283	154,274	155,761	161,072
人件費	14,560	14,560	14,560	14,560
合計コスト	169,843	168,834	170,321	175,632

●施策の評価（CHECK）

４ 施策の現状評価

＊28年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

各種がん検診による早期発見、早期治療が重要であり、受診率の向上は大きな課題である。この受診率向上に向け、同一会場での実施や、日曜健診など様々な工夫をしているところであるが、大きな改善には繋がっていない。特に働く世代に対する受診率を向上させるための工夫が必要である。
また、感染症の発症と蔓延予防のため、正しい知識の普及啓発に努め、接種率の向上のため引き続き各関係機関と連携し、接種しやすい体制の構築を図る必要がある。

＊岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	予防接種の実施にあたっては、医師会や学校の協力により、ほとんど集団接種が実施できているため接種率が高い。
岡谷市の弱み	女性特有のがん検診実施機関が市内で２医療機関に限られる。

５ 今後の外部環境の変化

＊29年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	・有名人、著名人のがん罹患の報道 ・予防接種事業の定期接種化の増。混合ワクチンの開発
不利に働くもの	保健センターでの集団接種が限界にきており、個別接種へ移行した場合の接種率低下が懸念される。

●改善の内容（ACTION）／次年度の計画（PLAN）

6 平成30年度　施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

＊優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
＊見直しを行う分野　　＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	各種がん検診の受診率向上により、生活習慣病等の早期発見、早期治療に繋げるための、受診勧奨の強化を図る必要がある。特に働き盛りの人の意識改革を図り、基本健診や各種がん検診の受診率を向上させるための啓発が重要である。
見直しを行う分野	

●30年度の優先度

＊方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付ける。

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標			直接事業費	人件費	妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位	26年度	26年度	26年度			
							27年度	27年度	27年度			
							28年度	28年度	28年度			
							29年度	29年度	29年度			
1		一般	あり	健診推進事業	がん検診の要精検者の受診率	%	88.0	47,998	4,640	高い	継続して実施	B：現状維持
							87.0	50,940	4,640			
							88.0	50,401	4,640			
							95.0	52,012	4,640			
2		一般	あり	予防接種事業	対象者に対する接種者の割合	%	53.1	107,285	9,920	高い	継続して実施	B：現状維持
							52.0	103,334	9,920			
							52.0	105,360	9,920			
							52.0	109,060	9,920			
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												